



## プレー・アカデミー with 大坂なおみ

### 助成金申請ガイドラインー東京・大阪

プレー・アカデミー with 大坂なおみは、大坂なおみ選手、ナイキ (Nike, Inc.) とローレウス・スポーツ・フォー・グッド財団 (以下、ローレウス財団) のパートナーシップによってつくられたプログラムです。

プレー・アカデミーでは、生涯を通して影響が続くと証明されている遊びとスポーツを、現代社会に浸透しているジェンダー格差を埋めるのに役に立つエンパワメントツールとして活用し、女の子の生活に変革をもたらすことを目的としています。

しかし、多様なニーズに合った機会の欠如、女性コーチやロールモデルの不足、文化的な障壁は女の子が遊びとスポーツに参加する際に直面する数多くの課題のほんの一部に過ぎません。

プレー・アカデミーは、地域コミュニティ団体に助成金やキャパシティ・ビルディング、研修の機会を提供することで、これらの課題に取り組み、楽しく前向きな遊び体験とジェンダー・インクルーシブなコーチング研修を受けた指導者の増加を重視しています。プレー・アカデミーは2020年に東京で開始し、すでにロサンゼルスやハイチも対象にしており、現在は大阪にまで拡大しています。詳しくは公式ウェブサイト

(<https://playacademynaomi.com/ja/>) をご覧ください。

#### ローレウス・スポーツ・フォー・グッド財団について

ローレウス財団は、スポーツの力を活用して、世界中の子どもたちや若者、彼ら・彼女らの地域コミュニティにおける暴力、差別、不平等をなくすことを目的としています。そしてスポーツは世界を変えることができることを証明します。私たちのミッションとして、スポーツを活用しながら平等、アクセス、機会を創出するためにプログラムやイニシアチブを助成や支援、開発します。

(ローレウス公式サイト : <https://www.laureus.com/>)

#### ナイキ (Nike, Inc.) ソーシャル・コミュニティ・インパクトについて

ナイキは、世界の変化を推し進めるスポーツの革新的な力を信じています。より公平で多様な世界を目指し、ナイキは子どもたちが活発で多様なコミュニティを形成するというコミットメントを持ち、社会の不平等の是正に向けて取り組んでいます。私たちは大人をエンパワーし、地域連携やコーチングの手法を活用することで、あらゆる子どもたちが身体を動かして遊ぶことをサポートしています。そして、誰もが自分らしく幸せな人生を送れるよう、世界中でパートナー団体や社員と協力しています。ナイキのパーパス(存在意義)の一環として、ソーシャル・コミュニティ・インパクトの取り組みの詳細については下記リンクをご参照下さい。

(ナイキ公式サイト : <https://about.nike.com/en/impact>)

## 助成金について

この「プレー・アカデミー with 大坂なおみ」助成金は、冒頭のプログラム目的に親和性を持ち、本ガイドラインの示す要件を満たす選考委員会から採択された、地域コミュニティ団体のスポーツ・遊び・身体活動を活用した非営利の女の子のエンパワメントプログラムに対し、ローレウス財団より最大 USD15,000（※1）を 2024 年 1 月 1 日から 2024 年 1 月 31 日の 1 年間提供されます。

- 日本で法人格を有し、イギリスからの資金提供を受ける資格のある団体。
- 女の子特有のニーズを理解し、安心安全なプログラム環境を整えるためにセーフガーディングとコーチ教育へ取り組んでいる・取り組むことに関心がある。
- 組織発展のための新しい課題へ挑戦し、「プレー・アカデミーwith 大坂なおみ」の評価や広報活動、そのパートナーと積極的に協力することができる。
- 助成の対象となるプログラムを首都圏もしくは大阪府で運営している・運営予定で、内容が 3 ページ「支援対象外」に該当しない。
- 助成の対象となるプログラムは、自らが企画する非営利を目的としたもので、スポーツ・身体活動を伴うアクティビティを含む女の子のエンパワメントプログラムである。
- 助成の対象となるプログラムは、7-15 歳の女の子（※2）を対象として行われる。

また当助成金では上記の要件に加え、以下に該当するプログラムの支援を優先的に行う予定です。

- 助成の対象となるプログラムの企画・運営に女性職員もしくは女性コーチが 1 名以上参画している。
- 参加者（※3）の継続的な参加を促すことができ、彼女たちの変化を簡単なモニタリング評価できる。

※1 助成金に採択された場合、その金額はローレウス財団が最終決定・承認します。助成金は、承認されたプログラムを運営するための人件費を含む必要なコアコスト（承認金額内で上限なし）に使用可能です。

※2 男の子の参加は、参加者全体数の過半数未満で可能です（例：女の子 20 人を対象とした場合—男の子最大 19 人 = 参加者計 49 人）。

※3 当財団では、「参加者」を「直接、定期的に、継続してプログラムに参加する人」と定義しています。例えば、プログラムにおける企画へ年間で 80%以上参加する女の子。参加者へ期待する影響（アウトカム）をもたらすためには、どの程度のプログラム参加が必要か定義して企画設計することが重要です。

## 支援スケジュール（予定）

助成金に採択された場合、支援はローレウス財団によって提供され、セーフガーディングの推進とプログラムのモニタリング評価へ取り組んでいただきます。また「プレー・アカデミー with 大坂なおみ」パートナー団体・企業を中心とする交流会、報告会、イベントへご協力いただきます（参加に係る交通費・旅費は追加助成金として一括支給予定）。その他、ローレウス財団の推進する国連気候変動枠組条約（UNFCCC）「[気候変動対策のためのスポーツフレームワーク](#)」などの取り組みへご賛同をお願いしております。

詳細は、以下のスケジュールをご参照ください。

期間	最大予算	成果物と機会
2024年1月-3月	USD 15,000	<ul style="list-style-type: none"> <li>プログラム計画・方法論のブラッシュアップ</li> <li>プログラム評価のフレームワーク作成とベースライン調査</li> <li>セーフガーディング推進のための自己診断</li> </ul>
2024年4月-6月		<ul style="list-style-type: none"> <li>団体としてのセーフガーディングポリシーの策定</li> </ul>
2024年7月		<ul style="list-style-type: none"> <li>中間報告のためのデータ収集・分析</li> </ul>
2024年10月-12月		<ul style="list-style-type: none"> <li>年次報告のためのデータ収集・分析</li> </ul>
通年		<ul style="list-style-type: none"> <li>プログラム運営</li> <li>セーフガーディング推進</li> <li>キャパシティ・ビルディングのための伴走支援と研修（年間 30 時間程度）</li> <li>プレー・アカデミー主催のイベント参加や他プログラムとの交流・訪問</li> <li>その他、ローレウスやナイキのキャンペーンや調査、イベントなどへの協力</li> </ul>

### 支援対象外

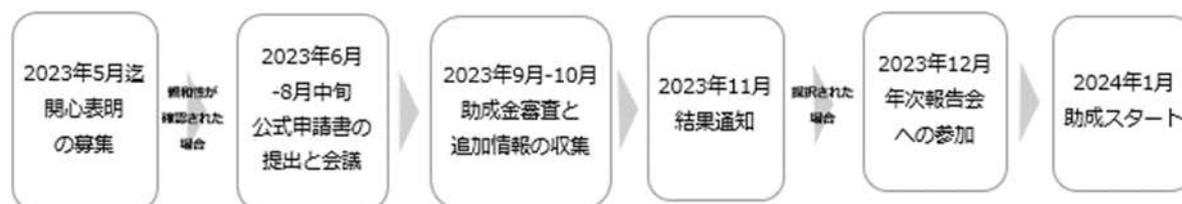
本助成事業では、ローレウス財団の助成金提供基準に従って支援対象となる団体・プログラムを選定しており、以下は支援対象としていません。

- スポーツや身体活動を含まないプログラム
- スポーツ参加やその向上のみを目的とするプログラム
- エリートレベルのユース選手育成等の競技力向上を目的とするプログラム
- スポーツチームや選手の練習や試合参加を目的とするプログラム
- 単発的なスポーツイベントや運動会、トーナメントの開催のみのプログラム
- 教育機関（学校）が学内のみを対象としたプログラム
- 競技場、コート、教室またはその他の建物の建設および購入費

### デュー・デリジェンス（適性評価）

この関心表明の後に正式な申請を要請された団体には、ガバナンスや財務管理、セーフガーディング、開発のためのスポーツ、平等、多様性と包括性（D&I）、モニタリング、評価、学習（MEL）を含む多様な視点から団体の助成金を管理する能力のデュー・デリジェンス（適性評価）が行われます。デュー・デリジェンスで団体の改善すべき分野が指摘された場合、助成事業採択後、パートナーシップを通じてローレウス財団はキャパシティ・ビルディング伴走支援を提供します。

### 申請スケジュール



### 申請方法

この助成金に申請希望の場合、**2023年5月15日(月)**までに関心表明フォームを <https://www.tfaforms.com/446113> よりオンライン記入・提出ください。オンラインフォームは英語で表示されますが、本ガイドライン P.5-8 を参考にしながら日本語での入力・提出を受け付けています。

すべての関心表明が審査された後、正式な申請プロセス（選考有）へ選定された団体を 2023 年 6 月中旬頃に招待します。

ご質問やご不明な点がございましたら、[pano@laureus.com](mailto:pano@laureus.com) までメールでお問い合わせください。

# 関心表明フォーム（日本語見本）

## 本フォームの記入方法

### ローレウスのビジョン

ローレウス財団は、スポーツの力を活用して、世界中の子どもたちや若者、彼ら・彼女らの地域コミュニティにおける暴力、差別、不平等をなくす。そして、スポーツで世界を変えられるということを証明する。

### ローレウスのミッション

スポーツを活用しながら平等、アクセス、機会を創出するためにプログラムやイニシアチブを助成や支援、開発する。

### セーフガーディングへの取り組み

ローレウスは、開発のためのスポーツ分野を先導する一員として、子どもたちや若者、支援の必要な大人の生活に改革をもたらすために、地域コミュニティベースのスポーツ事業のネットワークを助成・支援しています。ローレウスの支援の受益者は、子どもたち、若者、支援の必要な大人であり、これら受益者の保護とセーフガーディングに関してリスクを管理・軽減するための方針や手順を設けることが不可欠と考えています。ローレウスでは、支援するプログラムや活動に参加するすべての人の福祉と利益を最優先事項とし、この一環として「[スポーツにおける子どものための国際保護措置](#)」を支持しています。

「私たちは、子どもたちや若者、支援の必要な大人にとって、より安全なスポーツを目指すことに全力を尽くしており、私たちのネットワークを通じてセーフガードを推進・擁護し、業務に反映させることを約束します」

この取り組みの一環として、**助成金へ採択された場合**、その団体は助成金契約書への署名と同時に、セーフガーディング方針に署名し、そのガイドラインと推奨事項に従ってこの取り組みにご賛同いただきます。当財団のセーフガーディング方針の事前確認をご希望される場合はお問い合わせください（参考用日本語版有）。

### 環境への取り組み

国連によると、気候変動は現代国際社会における非常に深刻な問題であり、気候変動の証拠は、世界平均気温の高温化、海面上昇、海洋の温暖化（ハリケーンや台風などの暴風雨活動の頻度と深刻さを増している）、干ばつの長期化、山火事活動などにすでに私たちの生活のいたるところ表れています。科学分野においては 2000 年代初頭に人為的な原因による気候変動についてほぼコンセンサスに達し、それ以降その合意は拡大しています。

すべての分野で気候変動に取り組むことの緊急性と重要性を認識し、ローレウスでは自らの役割を果たすことを約束し、国連気候変動枠組条約（UNFCCC）の「気候行動のためのスポーツ」フレームワークに署名しています。このフレームワークには 5 つの原則が含まれています。

1. より大きな環境責任を果たすための組織的な取り組みを行う。
2. 気候変動の全般的な影響を軽減する。
3. 気候変動対策のための教育を行う。
4. 持続可能で責任ある消費を促進する。
5. 情報発信を通じ、気候変動対策を提唱する

この取り組みの一環として、**助成金へ採択された場合**、その団体は助成金契約書への署名と同時に、このフレームワークに署名し、そのガイドラインと推奨事項に従ってこの取り組みにご賛同いただきます。

## 関心表明フォーム（日本語見本）

国連気候変動枠組条約（UNFCCC）の「気候変動対策のためのスポーツ」フレームワークは <https://www.unic.or.jp/files/c6509b8eadff5384180a1fd439669a4b.pdf> からご覧ください。また、その推進のためにローレウスが製作した [ツールキット](#) もご参照ください。

### ジェンダー平等とジェンダー・ジャスティス（正義）への取り組み

ローレウスは、ジェンダー平等を信じ、すべてのプログラムや助成金、調査、影響力のある活動は、ジェンダー平等を推進するような設計と実行が必要だと考えています。女性も男性も、女の子も男の子も、そしてノンバイナリーの子どもや若者も、平等に機会へのアクセスを持ち、平等にそれらと関わり、自分自身の人生の担い手となり、力を持つことができることがジェンダー平等のビジョンとして定義しています。

この実現のために、そして女性と女の子を権力はく奪状態に置いている現在の権力構造を認識し、私たちは、ジェンダーについての態度、考え、信念に変革をもたらし、若い女性と女の子の私たちが支援するプログラムへの関与を高め、コミュニティでリーダーとなり、対等の条件で生活の状況に影響を与えられるように支援することで、彼女達のエンパワーメントへの取り組みを強化していきます。

ジェンダーの主流化は、ローレウスがジェンダー平等推進に用いる 2 つの戦略のうちの 1 つで、もう 1 つは社会的重点分野の「ジェンダー平等」です。すべての社会的重点分野においてジェンダー平等に貢献するために、すべての活動でジェンダーに関わる課題を主流化します。

この取り組みの一環として、**助成金への申請内容**に少なくとも以下の要件が明確に反映されていることを期待します。

1. 女性と男性、女の子と男の子、そしてジェンダーにとらわれない自意識を持つ子どもや若者が、プログラムと助成金サイクルのすべての段階において考慮され、彼ら・彼女らの異なるニーズと視点が企画と運営に反映されていること。
2. ローレウスが支援するプログラムに平等かつ公平に参加し、そこから利益を得ることができること。また プログラムが女性や女の子、またジェンダーにとらわれない自認を持つ子どもや若者を傷つけたり排除したりしないこと。
3. できる限り既存のジェンダーの不均衡や不公平を是正するのに役立つこと。

### 貴団体について（\*記入必須）

団体名* :	
プログラム名* :	
団体設立日* :	
団体所在地住所 1 行目* :	
団体所在地住所 2 行目 :	
市町村* :	

## 関心表明フォーム（日本語見本）

郵便番号：			
国*：			
電話番号：			
団体ウェブサイト URL（ある場合）：			
地域社会に拠点を置く団体ですか*。		Yes / No	
日本で登記済みの非営利法人ですか*。		Yes / No	
慈善団体番号：		会社法人番号・ 法人番号：	
その他の場合、貴団体の種類をご記入ください。			
貴団体は、大規模団体の支部、または関連団体ですか？その場合、団体名をご記入ください。			
貴団体の背景やミッションについて簡単にご記入ください。			

### 連絡先

呼びかけ（Mr. Miss、Dr.など）：	
名前（名）*：	
苗字（姓）*：	
役職名*：	
Eメール*：	
電話番号：	

### 申請するプログラム案

貴団体が、どのようにスポーツを活用して、地域社会における暴力、差別、不平等に取り組んでいるか、取り組みたいかを下記の点を含めながら説明ください。

1. 取り組む対象地域のニーズ概要（どの社会的重点分野に関連しているかを明記）、およびそのニーズをどのように把握したのか
2. こうしたニーズへスポーツを通じて取り組むために申請するプログラムで使用する的方法（カリキュラムを含む）

## 関心表明フォーム（日本語見本）

3. 申請するプログラム活動の規模と地理的特徴
4. 関連するこれまでの主な実績
5. 貴団体の活動が当助成事業に一致していると考え理由
6. パートナーシップが実現した場合、達成したいことや取り組みたいこと

この設問に記載した情報を裏付ける外部調査や評価などがある場合はご記入ください。記述内容は1ページ以内に収めてください。

プログラムの概要（受益者人数や属性、特徴を含む）やプログラムがどのように貴団体の理念に一致するかを含めながら記載ください。

下書き用見本

申請するプログラムが貢献する社会的重点分野を2つ選択してください。

- 1. 健康とウェルビーイング：心の健康の増進と健康的な行動変化の推奨
- 2. 教育：教育の質を確保し、教育を受ける機会を支援
- 3. ジェンダー平等：平等、エンパワメント、安全の拡大
- 4. 雇用機会：雇用適性の向上と雇用経路の創出
- 5. インクルージョン：民族、文化、身体的な違いを受け入れるコミュニティの創造
- 6. 平和構築：対立の解消、コミュニティでの平和構築、安全な場所の創造